

# 大野市説明資料について

---

令和2年12月25日

石山大野市長 提出資料

## 国際的、全国的な取組等

持続可能な開発目標(SDGs)  
地球温暖化対策(ゼロカーボン)  
海洋プラスチック問題  
地域循環共生圏の実現

## 福井県の取組等

福井県環境基本計画(2018)  
六呂師高原の学びと体験の拠点化  
福井県長期ビジョン(2020)  
2050年までにゼロカーボンを目指す

## 市の変化

人口減少、少子化、高齢化の進展  
中縦、新幹線、重点道の駅「荒島の郷」

## 第六次大野市総合計画

「くらし環境分野」  
豊かな自然の中で快適に暮らせるまち



## 第二期計画の検証

大気、水など環境基準はおおむね良好  
生活様式の変化や自然環境の変容により「大野の自然」に触れ合う機会が減少  
市民1人1日当たりのごみ排出量が増加傾向

## アンケート結果

関心の高い環境問題  
地下水関連、ごみ問題、地球温暖化  
意識改革は進んでいる

⇒次のステップは各主体の具体的行動の実行

## 環境像『水循環共生都市 越前おおの』を実現するための基本目標

第三期計画の基本目標(案)

### ①自然との共生社会の形成

先人から受け継がれてきた豊かな自然を、市民一人ひとりの力によって次世代へと守り伝えるとともに、その恵みを地域の発展に活用するなど、自然と経済活動の調和のとれた社会を目指します



### ②低炭素社会の実現

脱炭素社会(ゼロカーボン)を見据え、省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの利用などにより、低炭素型のエコライフや事業活動が定着した社会を目指します



### ③資源循環型社会の構築

3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再利用)活動を通じて廃棄物の減量化と資源化に取り組む資源循環型の社会を目指します



### ④快適な生活環境の保全

大気・水・土壌などを良好な状態に保ちつつ、大野らしい歴史的資産や自然景観に囲まれた、安心・安全で快適に暮らせる生活環境を目指します



### ⑤総合的な取組の推進

持続可能な開発のための教育(ESD)や、市民協働による地域の特性をいかした環境学習や保全の取組を促進するとともに、環境に関する情報の収集と共有化を推進します



## 重点的に取り組む施策

基本目標達成のために、5年間で優先的に取り組む施策

## 各分野の具体的な取組

## 数値目標

基本目標を踏まえ、かつ、基本的視点に即し設定 2